

研究課題名	国際ガイドライン（JSCCR, NCCN, ESMO）別に見た病理学的リンパ節転移リスク因子による内視鏡切除後 pT1 大腸癌のリンパ節転移予測能の比較
研究期間	実施許可日 ～ 2034 年 12 月 31 日
研究の対象	1992 年 2 月～2017 年 9 月の間に広島大学病院消化器内科で内視鏡治療が行われ pT1 大腸癌と診断された患者さん（FAP, 炎症性腸疾患, 進行大腸癌あるいは他臓器進行癌の合併症のある症例は除外します）
研究の目的・方法	研究目的：JSCCR（日本）, NCCN（米国）, ESMO（欧州）ガイドラインのリンパ節予測能について比較する。 研究の方法：研究対象者の診療録内にあるデータを使用して JSCCR, NCCN, ESMO ガイドラインにおけるリンパ節転移リスク因子に照らし合わせて、それぞれのガイドラインにおけるリンパ節転移の予測能を比較検討する。
研究に用いる試料・情報の種類	臨床情報: 年齢、性別、病歴、家族歴、内服歴, 血液検査: 赤血球数, 白血球数/分画, 血小板数, AST, ALT, 総蛋白数, アルブミン, 総ビリルビン, クレアチニン, 尿素窒素, 血糖値, HbA1c, Na, K, Cl, Ca, CEA, CA19-9, CA125 画像検査結果: 腹部超音波, 内視鏡検査, CT, MRI, PET/CT 治療法: 内視鏡治療, 外科的治療, 化学療法 病理学的所見: 腫瘍径, 病理組織学的所見 治療反応性: 偶発症, 予後, 再発
外部への試料・情報の提供	なし
利用または提供を開始する予定日	実施許可日以降
個人情報の保護	情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院消化器内科 教授 岡 志郎
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。

なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 消化器内科

担当者：谷野 文昭，山下 賢

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5193